

⑦ 中学校	医療関係者・がん経験者と連携したがん教育		
対象者	中学校2年生	派遣時間	110分
外部講師	①がん拠点病院 看護師 ②がん経験者		
対象者及び参加人数	1 児童生徒(54)名 2教職員(9)名		
設定場面	学校保健委員会		
ねらい	日頃がん患者さんに関わる医療従事者のお話を聞くことで、子どもたちががんを身近なものとして捉え、がんを予防するために今から自分が何をすべきか考え行動できるようになる。実際にがんを経験し克服された方からのお話を聞くことで、がんと向き合い生きていく姿から、自分のこれからの生き方やがんと向き合い方考えられるようにする。		
実施内容	<p>【事前の準備・打ち合わせ等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生は当日までに保健体育科でがんについての基礎知識(原因と予防)を学習する。 ・講師と日時や来校時間の確認。事前の授業の内容をふまえ、当日の内容の打ち合わせ。 <p>生徒の様子、準備機材等。講師派遣数が2名の確認。</p> <p>【当日の概要】</p> <p>①事前学習を踏まえ、専門的な立場からがんについて学んだ。(治療や緩和ケアなども含む)がんの基礎的な知識をクイズを交えたお話や、写真や心のケアに関する事例を紹介した。</p> <p>②がんを経験し、自身の夢をかなえカフェの経営をしているという立場から、生徒たちに伝えたいことを語っていただいた。</p>		
成果・感想	<p>【成果】</p> <p>①がん患者と日々向き合い、寄り添われている専門的な立場の方から、病院での患者さんの思いや医師・看護師の思いを感じることができ、生徒たちはこれからの生活をどう気をつけたいか具体的に考えることができた。</p> <p>事前事後のアンケートより、「日ごろからバランスの良い食事や運動など健康な体作りに取り組もうと思う」に、そう思うと回答した生徒は50.0%から94.4%と増加した。また、「がんと健康について家族から語ろうと思う」に、そう思うと回答した生徒も38.7%から77.8%となり、自分や家族のこれからの健康に対する意識を高めることができたと考えた。</p> <p>② がんを経験された方の思いを知り、生徒たちは自分や家族、がん患者のために何ができるのか考えることができた。また、病気は自分だけの問題ではなく、家族や周りの人にも影響を与え、その存在が支えになることを学んだ。涙ながらに語る講師の話を聞き、生徒たちの心にも響くものがあった。</p>		
今後の取組予定	自分の生活を振り返り、どう改善すればよいか具体的に考えることができていた。その目標を行動化し、継続するために、各家庭への働きかけや具体的な手立てを記したチェックカード等を活用するなどして習慣化を目指したい。		